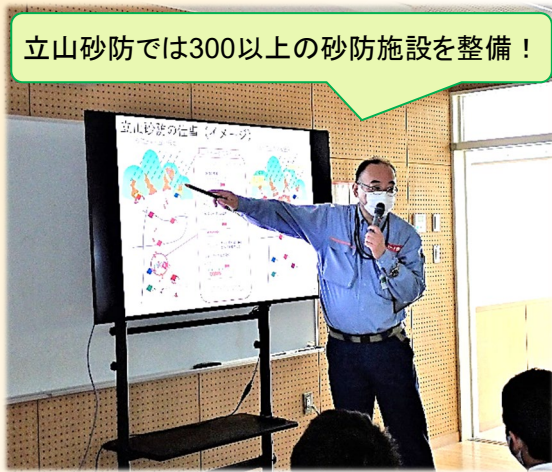


「富山市立太田小学校」で出前講座！



流域の次代を担う小学生の皆さんを対象に、砂防事業を通して、地域を知り、さらにふるさとに親んでもらうことを目的に、「総合的な学習の時間」支援の一環として、富山市立太田小学校にて出前講座を実施しました。授業の内容は暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割、立山で行われている砂防の事業について説明しました。講座が終わった頃には立山には観光地としての側面と併せて、防災事業が行われている地としてもう一つの側面を理解していただきました。



立山砂防では300以上の砂防施設を整備！



みんな立山カルデラって知ってるかな？



土石流の威力に驚き！

開催日 : 令和5年6月30日(金)
時間帯 : 9:25~10:10
場所 : 富山市立太田小学校
参加者 : 5年生(31名)・教員(3名)

講座内容

1. 土砂災害とは
2. 砂防とは
3. 砂防堰堤の働き
4. 立山カルデラ
5. 常願寺川の特徴
6. 立山の砂防

砂防堰堤のはたらき

立山砂防の仕事(イメージ)

土石流、地すべり、崖崩れの違いについてわかりやすく実際の映像を見ていただきました

平成11(1999)年6月 木曾川支流滑川で発生した土石流(長野県上松町)
Debris flow that occurred in the Minobu River, a tributary of the Kiso River, in June 1999 (Uegahama town, Nagano prefecture)

今回の出前講座は、令和4年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました。9月には立山カルデラでの現場を見学、10月には土砂災害の模型等による講座も実施する予定です。